

## 「AZ-COM Matsubushi EAST」で物流DXを推進 ～丸和運輸機関がビーインググループの物流総合システム「Jobs」を導入、 サプライチェーン全体での業務効率化を加速～

AZ-COM丸和ホールディングス株式会社（本社：埼玉県吉川市、代表取締役社長：和佐見勝）のグループ会社で3PL事業（※1）を提供する株式会社丸和運輸機関（本社：埼玉県吉川市、代表取締役会長：和佐見勝、以下「丸和運輸機関」）は、2026年2月に稼働した物流センター「AZ-COM Matsubushi EAST（※2）」（埼玉県北葛飾郡松伏町）において、株式会社ビーイングホールディングス（以下「ビーイング」）が自社開発した物流総合システム「Jobs（ジョブス）（※3）」の利用を開始したことをお知らせします。

（※1）荷主に対し、その立場に立ったロジスティクスサービスを戦略的に展開する事業（一般社団法人 日本3PL協会）

（※2）埼玉県北葛飾郡松伏町に開設した、延床面積約2万5千坪の食品物流センター。2026年2月より稼働開始、本年12月中に稼働率100%を目指す

（※3）「情報共有」をコンセプトに開発された、輸配送・倉庫・下払い・品質・CO2排出量・パース・動怠・生産性管理の8機能を有する物流総合システム

AZ-COM丸和グループは、中期経営計画2028において、グループネットワーク機能を最大化する輸配送プラットフォームの強化を掲げるとともに、オペレーション標準化とDXの実装による3PL事業の省人化・省力化の実現に取り組んでいます。

一方、ビーイングは「運ばない物流®」という独自のコンセプトのもと、サプライチェーン全体を俯瞰した物流の最適化に取り組んでいます。自社で培った物流ノウハウとシステムを同業他社にも提供する4PL事業を展開しており、物流業界全体の生産性向上を目指しています。こうした両社の方向性と想いが一致し、今回AZ-COM Matsubushi EASTにて「Jobs」を導入しました。

丸和運輸機関がAZ-COM Matsubushi EASTにて物流業務を受託している荷主企業の株式会社マミー マート様からも、本システム導入による物流業務の可視化・デジタル化の取り組みについて高い評価をいただいております。

### 〈物流総合システム「Jobs」概要〉

ビーイングが提供する「Jobs」は、総合物流輸送企業ならではの現場視点から開発されたシステムです。

- 現場の視点で開発：3PL（サードパーティー・ロジスティクス）の実務から生まれたシステムであり、現場が抱える「業務の非効率」「人材不足」「消費者需要の多様化」といった課題に対応可能な機能を有しています。
- 物流業務のDX・効率化：単なる在庫管理にとどまらず、ロジスティクス全体の変革（DX）を目指したシステムです。業務の効率化によって生まれた時間やエネルギーを、人間が本来担うべき戦略的業務へ転換することをコンセプトとしています。
- コンサルティングカに基づいたソリューション：物流センター運営、輸配送管理、コンサルティングなど、ビーイングが長年培ってきた専門知識とノウハウがシステムに組み込まれています。

### 【物流総合システム Jobs】



### Jobsのコンセプト「情報共有」

- 見える化（プル型） → 興味のある情報を詳細に提供
- 見せる化（プッシュ型） → 興味を持っていたく情報の提供

## 〈AZ-COM Matsubushi EAST 施設概要〉

AZ-COM Matsubushi EASTは、食品物流における安定供給、安全・品質管理、生産性向上を同時に実現し、社会・事業環境の変化に対応可能な先進的物流モデルの構築を目的とし、荷主複合型の三温度帯対応物流センターとして運営しています。同センターでは「Jobs」の輸配送管理（TMS）および倉庫管理（WMS）機能を活用し、物流業務の可視化と効率化を推進するとともに、データに基づくオペレーション高度化を進めてまいります。

- (1) 所在地：埼玉県北葛飾郡松伏町田島南1-1
- (2) 延床面積：82,530㎡（24,965坪）
- (3) 倉庫面積：48,991㎡（14,846坪）
- (4) 用途：荷主複合型三温度帯対応センター（5層：1F 冷蔵、2F 冷蔵・冷凍、3～5F 常温）
- (5) 総投資額：250億円
- (6) 主要設備：PCaPC造、免震構造、インタンク(300kℓ)、非常用発電機(1,400KVA)、洗車機、顔認証セキュリティ、等

AZ-COM Matsubushi EAST



## 〈各社コメント〉

- (1) 株式会社丸和運輸機関 営業・事業統括本部 松伏開設準備室長 谷津恭輔

小売業を中心とした3PL事業を熟知したビーイング様が長い年月をかけて開発した「Jobs」の機能・利便性は、新センターを即座に立ち上げるうえで大きな力になります。荷主企業様とリアルタイムで車両位置や在庫情報を共有することで、サプライチェーン全体の効率化を実現できるため、すべてのステークホルダーにとって有益であると感じています。今後、更なる試行錯誤を重ねながら、物流サービス品質の向上に向けて「Jobs」を積極的に活用していく考えです。

- (2) 株式会社ビーイングホールディングス 事業開発部長 北川徹也 様

当社はこれまで自社物流の高度化を目的として物流総合システム「Jobs」を開発・運用してまいりました。今後は、物流企業のパートナーとしてシステムの外部提供を進め、4PL（フォースパーティー・ロジスティクス）として物流全体の最適化に貢献していきたいと考えています。今回の丸和運輸機関様での利用開始を契機に、物流業界のデジタル化と生産性向上にさらに貢献してまいります。

- (3) 株式会社マミーマート 執行役員 物流部長 藤原淳平 様

小売業にとっても物流業務の可視化とデジタル化は、サプライチェーン全体の効率化を進めるうえで重要な取り組みです。今回の新物流センターでの新たな試みは、輸配送や倉庫業務の状況がより明確に把握でき、当社としてもデータに基づいた業務改善を進めていけるため、とても期待しています。

## 〈会社概要〉

- (1) AZ-COM丸和ホールディングス株式会社

1973年に設立、2014年に東京証券取引所市場第二部（現スタンダード市場）に上場し、翌年に第一部（現プライム市場）に銘柄指定。AZ-COM丸和グループの中核企業である株式会社丸和運輸機関は、小売業の3PL事業に強みを持ち、中期経営計画2028に掲げるグループ全体の輸配送プラットフォーム強化と3PL事業の省人化・省力化の実現を牽引している。（URL：<https://www.az-com-maruwa-hd.co.jp/>）

- (2) 株式会社ビーイングホールディングス

1986年に設立、2020年に東京証券取引所市場第二部（現スタンダード市場）に上場した総合物流輸送企業グループ。「運ばない物流®」をコンセプトにサプライチェーン全体の合理化を進めるとともに、自社開発の物流総合システム「Jobs」による情報の共有・可視化＝「見える物流・見せる物流」に注力し、ロジスティクスの全体最適化を目指す。（URL：<https://being-group.jp/>）

- (3) 株式会社マミーマートホールディングス

1950年に設立、2004年にJASDAQ市場（現スタンダード市場）に上場。食生活を通じて地域の健康で豊かな生活を支える「Enjoy Life!」をコンセプトとし、関東を中心に食品スーパーマーケットを展開。地域密着型の店舗運営を行うとともに、物流の効率化とサプライチェーン高度化に取り組む。

（URL：<https://mami-mart.com/>）